

～ 保護者・地域の有志と共に ～

# 調布五中 地域学校協働本部だより

2020.3

## 平成31・令和元年度 活動報告

地域コーディネーター 石原・興石

### 美化活動 (5月、10月、2月に実施)

PTA と生徒と教職員との合同美化は五中の伝統です。生徒たちは部活単位で持ち場を分担し、保護者はたくさんの花壇を整備します。



### 開校50周年を迎えて (10月11日実施)

標準服の刷新に続き、立派な新体育館、本格的なテニスコートが完成し、五中は50周年という節目を迎えました。約40名の実行委員が団結協力して、入念に準備を進めて迎えた当日、超大型台風19号の接近が危ぶまれる中でしたが、無事に式典・祝賀会を挙行。その夜、調布で初めての水害対応の避難所が開設されるほどの台風被害に見舞われ、歴史にも記憶にも刻まれた一日となりました。



### 40周年当時のタイムカプセル (12月7日)

当時の在校生が10年後の自分に宛てた手紙を取り、見違えるように変わった母校に集まりました。

### 夏期学習教室

例年通り7月22日から3日間、大学生の学習支援を募っていましたが、直前になって学生ボランティアの採用は中止。そのための予算計上がなされてなかったことが理由。

地域学校協働本部の予算についても、地域コーディネーターは掌握しておかなければならないとの教訓となりました。

### 図書ボランティア (月平均3回)

司書の補助や図書の整理、蔵書点検などの協力によって、必要な人数のボランティアを募ります。

### 試験監督ボランティア (10月に実施)

英検のための試験監督の協力者を地域から募りました。かつては漢字検定でも協力しました。

### 外国人ボランティア (2月14日、17日実施)

全国学校安全教育研究大会の公開授業のために、大勢の外国人ボランティアに集ってもらいました。英語で救急時のロールプレイをする授業です。一日に36人との要請にプレッシャーがありましたが、CIFAの協力や人脈によってそれ以上の人数が集結。多国籍間の交流が非常に素晴らしかったです。

